

年間活動の記録 (2008年1~6月)



この帽子は人気がある。分かれて作業していてもよく目立つ。男性にも女性にもよく似合うのだ。



1月13日 定例会
今年初めての顔合わせになった。57名が参加し、最多参加者記録を塗り替えた。
参加者にさくら友の会のシンボルとなる赤い帽子が配られた。



2月10日 維持管理部会
維持管理部会と理事等32名が参加した。赤い目印の杭の側に穴を掘り、肥料を入れ、苗木を植え、土を被せ、灌水する。手分けして50本余を能率よく植えた。



1月27日 準備
2月10日に桜の苗木50本を移植予定。そのため、植樹場所のマーキングを事前に行った。作業従事者、福富会長、西川事務局長、江原維持管理部会長、城戸会員交流部会長。ごくろうさまでした。



5月18日 定例会
杉林の中で下草刈り。気候は気持ち良い。刈払い機のエンジン音が頼もしく響く。

4月6日 深坂さくらえ
一面に記載しました。



3月9日 定例会
39名出席。施肥とゴミ集め。さくらの樹の根元に3箇所穴を掘り、固形肥料を入れる。施肥を行って世話した樹とそうでないのは差が大きい。しかし、可愛がりすぎて上ばかり成長すると、大風の時倒れるから難しい。



6月8日 有志
2ヶ月に一度では間に合わない。間に維持管理部会の活動を入れたがそれでも間に合わない。ほとんど毎日曜、手が空けば草刈に。



5月29日 理事会
7月の総会の準備のため、理事会を開きました。今年の総会は短く済ませ、総会後に作業をすることが決まりました。さくら友の会らしい意気込みです。

心洗うのに素晴らしい効果を発揮するのではないだろうか。抗鬱剤を飲むより、ここにしばらく立つ方が効きそう。



では、森林浴というが、樹の香りを含んだ風に吹かれ、木漏れ日を浴びながら、小鳥の音が森閑とした静寂の中に響くのを聞くと、幸福感に満たされてくる。森林浴は、肉体のためでなく、

深坂さくら
ポイントを紹介
します

杉林
遊歩道を歩いているとこういう景色に出会う。珍しい風景だ。

オーナー桜の数と木籍
19年度、下関響灘ライオンズクラブが募集したオーナー桜は21本。さくら友の会が行った枯れた木などの植え替えが105本ありました。さくら友の会が管理しているオーナー桜は全部で、1405本になります。
維持管理部会では、これらの調査を行い一本一本にIDナンバーを与え、木籍(こせき)を作成しています。地図上に、その位置が記されているのは勿論です。今後、写真を撮って、成長を追いかけることが出来るように計画されています。管理は先ず数えることから始まります。